

8-1-3 道路会社業務検討WG（首都高）

1. 道路会社業務検討WG（首都高）の概要

(1) 目的

協会と首都高速道路㈱（以下“首都高”）との意見交換会をスムーズに進めるために設置されたものである。意見交換会の直前には、この道路会社業務検討WG（首都高）（以下“首都高WG”）で作成した資料案を首都高の実務担当者に確認してもらい実務者検討会も開催している。

(2) 実務者検討会

意見交換会の2～3カ月前から開催し、首都高WGと首都高の技術基準及び契約の窓口である部署の実務者による実務者検討会を開催している。意見交換会の資料や当日のスケジュール等、必要な議論検討を実施している。

2. 主な活動の記録

(1) 年間活動スケジュール

この首都高WGは、年末に行われる首都高意見交換会を一つのサイクルとして運営されている。その大まかなスケジュールは、まず夏頃までに、意見交換会における協会からの要望の根拠となる会員へのアンケートを行うことから開始される。その後、アンケート結果をまとめ、並行して行われる国土交通省や地方自治体等顧客全体への要望に準拠し首都高意見交換会資料の作成を行う。

上記以外に、首都高の調査設計業務に関連する情報提供の確認・調整も行っており、令和5年度は、6月22日にWebにより設計変更ガイドライン等の説明会が開催された。

(2) 会員企業へのアンケートについて

意見交換会における要望の根拠となる項目についてWGメンバーと意見交換を行い、首都高業務を行っている会員企業へ7月にアンケートを行った。令和5年度は、「未経験技術者活用」契約制度に関する問いを設定し、幅広い意見をいただくことができた。

(3) 実務者検討会での検討

アンケート結果をもとに、首都高への要望案をまとめ、実務者検討会を開催した。これを通じて首都高の実務者と合意した内容で協会の要望書に会員の意見を盛り込むことができ、首都高からも一定の理解を得ることができた。なお、各メンバーが多忙であることを考慮し、実務者検討会もWeb併用で行った。

(4) 設計変更ガイドライン等説明会実施サポート

令和4年10月に改訂された「調査・設計請負契約における設計変更ガイドライン」をより円滑に進めるため、令和5年6月22日にWeb方式により首都高主催で説明会が開催された。ここでは、「担い手育成促進業務の試行」と「遠隔臨場試行マニュアル」についても説明された。

3. 令和6年度の活動について

令和6年度も首都高との意見交換会が予定されているため引き続き首都高WGと実務者検討会を開催する予定である。

また昨年要望したASP導入について、令和6年4月に2回説明会が開催される予定である。この説明会が2回開催されることも、要望事項であり、意見交換会の成果であると言える。

今後も首都高案件にかかる課題の整理、要望事項への結び付けを精力的に進めていく。

（道路会社業務検討WG（首都高）WG長

山口 修一）